



令和6年4月8日(月)

学校教育目標 **なかよく がまん強く たのしく**

第1号 文責：校長 真崎 哲也

諫早市立長田小学校  
859-0312  
諫早市西里町800番地

電話  
23-9010(職員室)  
24-8267(校長室)  
23-9059(FAX)

電子メール  
e-nagata@isahaya-  
snet.ed.jp

Web サイト  
<https://www.isahaya-snet.ed.jp/school/e-nagata/>



長田小  
HPぜひ  
ご覧ください!

## 【始業式作文発表】

6年2組 古川穂実  
「1学期がんばること」



○一つ目は、苦手な算数の学習をがんばること。二つ目は、しっかり声を出すこと。三つ目は、習い事のバレーで、レシーブ力を高めること。

6年2組 久保林檎  
「1学期がんばること」



○一つ目は、苦手な社会の学習をがんばること。二つ目は、責任をもって委員会活動をがんばること。三つ目は、最高学年としてリーダーシップを発揮すること。

## 笑顔いっぱい!! 令和6年度のスタートです!

満開の桜から、つぼみを膨らませ始めたツツジへとバトンが渡され、春本番を迎えました。ご進級おめでとうございます。本日、令和6年度の学校がスタートし、2年生以上の子ども達が元気に登校してまいりました。子どもたちの表情や振る舞いから、一つ学年が上がった自覚とやる気を感じ取ることができ嬉しい気持ちになりました。

本年度は、昨年度より2名増の児童数243名でスタートします。5年ぶりに1～6年生全てが2学級となりました。大変喜ばしいことなのですが1学級が増えることで教室配置が難しくなり、やむなく5年生の教室を北と南の校舎に分けることとなりました。子ども達は登校すると、ドキドキしながら新学年の下駄箱で自分の名前を確認し、新しい学級へ入り仲間と対面しました。気心が知れているとはいえ、1年間過ごす仲間です。期待や不安が渦巻く瞬間です。始業式では、目を輝かせながら担任の先生の発表を聞いていました。環境が「変化」すると、人には期待と同様に不安や心配が生じます。これは大人も子どもも同じです。しかし、この「変化」が人を成長させ、学校に新しい風を起こします。「一人ひとりが輝く、笑顔いっぱいの学校」を目指し、一人ひとりのよさを見つけ、伸ばしてまいります。また、子ども達が迷い、不安に陥ることのないよう、一人ひとりとの対話と保護者の皆様との情報共有を密に、大切なお子様を全職員で、しっかりと見守り、育ててまいります。どうぞ、ご安心いただき、お気づきのことは何でもお気軽にご相談ください。みんなが楽しく、幸せになる1年になりますよう、よろしく願いいたします。

## 全力で子ども達を支え伸ばします ~R6ALL STAFF~

この度の人事異動により、5名の職員が長田小学校に着任しました。チーム長田小で子ども達の力を伸ばし、育てます。

校長	真崎 哲也	本校3年目	たんぼぼ	田尻宏太郎	本校6年目
教頭	川口 悦史	本校2年目	ひまわり	古賀 智美	本校2年目
1年1組	野副 智子	本校3年目	理科	田中 勝彦	筒城小より
1年2組	谷合健太郎	本校3年目	算数/音楽	南 寿美子	本校2年目
2年1組	坂元 美仁	本校4年目	養護教諭	吉本美由紀	本校6年目
2年2組	渡部 素子	本校3年目	事務職員	吉川 有紀	新規1年目
3年1組	水口 之齊	本校2年目	特別支援	大石ゆりか	本校2年目
3年2組	兼原 啓奈	本校2年目	図書支援	廣瀬香寿美	本校2年目
4年1組	町田 紗彩	新規採用	心の相談員	内田秩恵子	本校4年目
4年2組	大嶽 真鈴	本校2年目	用務員	江口 幸秀	本校6年目
5年1組	石田 達哉	本校2年目	用務員	馬渡龍太郎	本校2年目
5年2組	下田 斉人	新規1年目	給食配膳	宮本充代子	本校6年目
6年1組	西村 花菜	高城台小より	育友会事務	堤 郷子	本校3年目
6年2組	松本 和真	本校5年目	網掛けが今年度着任者です。		

## ☆始業式で伝えた、大切にしたい「3つの事」

本日の始業式では、以下のことを子ども達に、願いを込めて話をしました。改めて「学校教育目標に立ち返りました(抜粋)

『みんなが楽しい学校』をつくるために…

一つ目：みんなと仲良くする

みんなと仲良くなる、その第一歩は「ありがとう」「ごめんなさい」がしっかり言えることです。どんな小さなことにも感謝し、言い訳しないで伝えることです。

二つ目：がまん強くがんばる

学校はきついこともいっぱいあります。でも成長するにはあきらめず続けることが大切です。自分も、周りにいる人も元気に、幸せにする「あいさつ」を続けていきましょう。

三つ目：楽しいことがある・楽しいことをつくる

当たり前のことですが楽しい事があるから、学校にいきたくなります。でも、楽しさは与えてもらうだけではだめです、自分たちで作ります。それが本当の楽しさです。

